

みやづ経済ダイジェスト (NO.41)

令和2年3月
宮津商工会議所

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種100社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計を行っております。

【調査期間】令和元年10月～12月

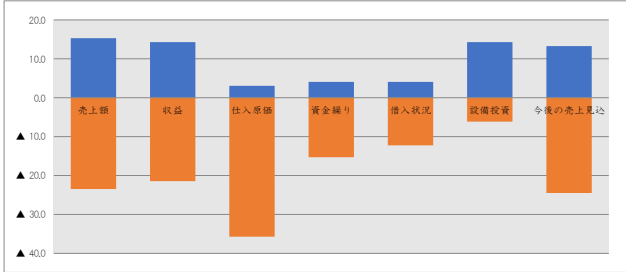
【調査方法】建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、合計100社を対象にアンケートを実施。（回答企業数49社）

【D1値の算出方法】①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、(①+②) / 全体数×100 - (④+⑤) / 全体数×100でD1を算出する。

※選択肢の目安：「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

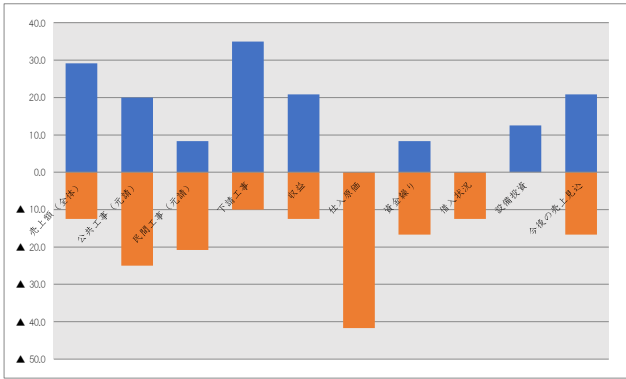
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		D1値
売上額	増加	3	9	15	21	1	減少	▲8.2
収益	増加	1	12	16	19	1	減少	▲7.1
仕入原価	低下	1	1	15	29	3	上昇	▲32.7
資金繰り	好転	0	4	30	15	0	悪化	▲11.2
借入状況	減少	0	4	33	12	0	増加	▲8.2
設備投資	低下	1	12	32	2	2	上昇	8.2
今後の売上見込	増加	0	13	14	20	2	減少	▲11.2



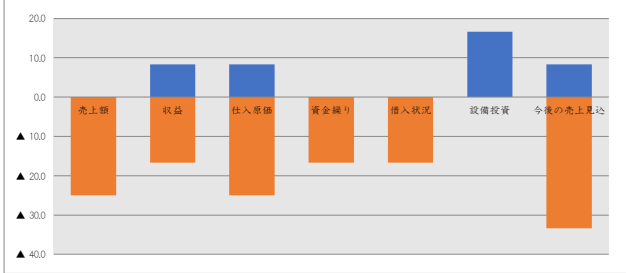
全体的にD1値が悪化しており、中でも仕入原価が▲32.7ポイントと最も大きく悪化している。資金繰り、借入状況、設備投資については不変との回答が最も多く、売上や収益が伸び悩む中、慎重な姿勢が伺える。

建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D1値
売上額(全体)	増加	2	3	4	3	0	減少	16.7
公共工事(元請)	増加	0	4	3	1	2	減少	▲5.0
民間工事(元請)	増加	0	2	6	3	1	減少	▲12.5
下請工事	増加	3	1	6	2	0	減少	20.8
収益	増加	0	5	4	3	0	減少	8.3
仕入原価	低下	0	0	3	8	1	上昇	▲41.7
資金繰り	好転	0	2	6	4	0	悪化	▲8.3
借入状況	減少	0	0	9	3	0	増加	▲12.5
設備投資	低下	0	3	9	0	0	上昇	12.5
今後の売上見込	増加	0	5	3	4	0	減少	4.2



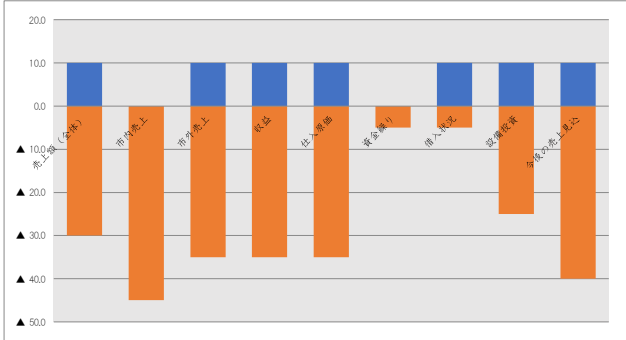
建設業は全体の売上額が+16.7ポイントと増加、下請け工事が+20.8ポイントの増加となり、元請工事については公共、民間ともにマイナスであった。また、仕入原価が▲41.7ポイントと大きく悪化する結果となった。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D1値
売上額	増加	0	0	3	3	0	減少	▲25.0
収益	増加	0	1	3	2	0	減少	▲8.3
仕入原価	低下	0	1	2	3	0	上昇	▲16.7
資金繰り	好転	0	0	4	2	0	悪化	▲16.7
借入状況	減少	0	0	4	2	0	増加	▲16.7
設備投資	低下	0	2	4	0	0	上昇	16.7
今後の売上見込	増加	0	1	2	2	1	減少	▲25.0



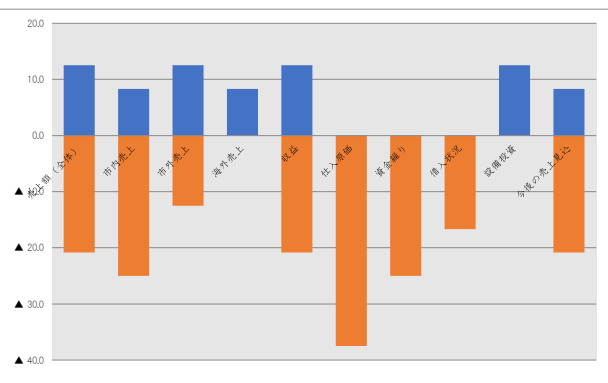
小売業は売上高が▲25.0ポイントと大きく減少し、経営施策としては「販路拡大」が最も多く挙げられた。他の項目においても不変、やや悪化の回答が大半を占め、大半の項目でD1値はマイナスを示す結果となった。

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D1値
売上額(全体)	増加	0	2	2	6	0	減少	▲20.0
市内売上	増加	0	0	2	7	1	減少	▲45.0
市外売上	増加	0	2	1	7	0	減少	▲25.0
収益	増加	0	2	1	7	0	減少	▲25.0
仕入原価	低下	1	0	2	7	0	上昇	▲25.0
資金繰り	好転	0	0	9	1	0	悪化	▲5.0
借入状況	減少	0	2	7	1	0	増加	5.0
設備投資	低下	0	2	5	1	2	上昇	▲15.0
今後の売上見込	増加	0	2	1	6	1	減少	▲30.0



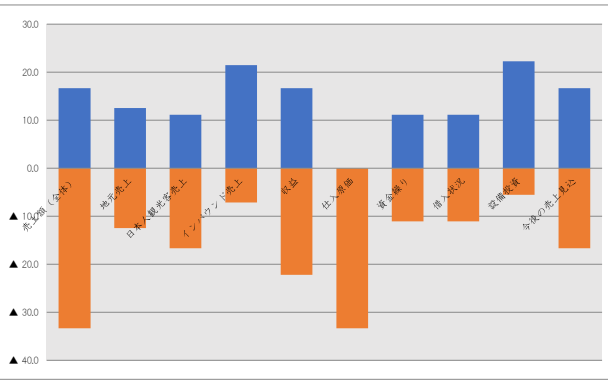
卸売業は市内売上が▲45.0ポイントと大きく減少したほか、他の項目においても前年同期に引き続き大きく悪化の結果となった。

製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D値
売上額（全体）	増加	1	1	5	5	0	減少	▲ 8.3
市内売上	増加	1	0	5	6	0	減少	▲ 16.7
市外売上	増加	0	3	6	3	0	減少	0.0
海外売上	増加	0	1	5	0	0	減少	8.3
収益	増加	1	1	5	5	0	減少	▲ 8.3
仕入原価	低下	0	0	4	7	1	上昇	▲ 37.5
資金繰り	好転	0	0	6	6	0	悪化	▲ 25.0
借入状況	減少	0	0	8	4	0	増加	▲ 16.7
設備投資	低下	1	1	10	0	0	上昇	12.5
今後の売上見込	増加	0	2	5	5	0	減少	▲ 12.5



製造業は市内売上が▲16.7ポイントと減少し全体の売上についても微減となった。仕入原価は▲37.5ポイントと大きく悪化した。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり		D値
売上額（全体）	増加	0	3	1	4	1	減少	▲ 16.7
地元売上	増加	0	2	4	2	0	減少	0.0
日本人観光客売上	増加	0	2	4	3	0	減少	▲ 5.6
インバウンド売上	増加	0	3	3	1	0	減少	14.3
収益	増加	0	3	3	2	1	減少	▲ 5.6
仕入原価	低下	0	0	4	4	1	上昇	▲ 33.3
資金繰り	好転	0	2	5	2	0	悪化	0.0
借入状況	減少	0	2	5	2	0	増加	0.0
設備投資	低下	0	4	4	1	0	上昇	16.7
今後の売上見込	増加	0	3	3	3	0	減少	0.0



観光サービス業においては、日本人観光客売上が▲5.6ポイントと減少したが、インバウンド売上は+14.3ポイントの増加となった。観光サービス業においても経営上の問題点として「人手不足」が最も多く挙げられた。

問2 現在直面している経営上の問題点についてお答えください。（複数選択可）

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①売上減少	2	4	6	5	3	20
②人手不足	8	2	6	4	4	24
③採算の悪化	2	2	1	2	1	8
④仕入価格の上昇	2	0	3	6	2	13
⑤後継者問題	2	1	2	2	1	8
⑥資金繰りの悪化	0	1	0	1	0	2
⑦その他	0	0	1	0	0	1

※その他：販売先の減少（卸売業）

問3 当面の重点経営施策についてお答えください。（複数選択可）

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計
①経費の節減	4	2	3	5	3	17
②人材の確保	8	1	3	6	3	21
③販路拡大	2	3	6	5	5	21
④設備投資	1	0	3	2	1	7
⑤事業計画策定	2	0	0	1	0	3
⑥業務の効率化	5	0	6	3	3	17
⑦その他	0	1	0	1	0	2

※その他：現状維持（小売業）、利益率の高い商品の売上を伸ばす（製造業）

ご協力頂きました事業所様、ありがとうございました。